

報告事項 イ

こども未来フォーラムの開催結果について

こども未来フォーラムの開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成27年2月9日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

こども未来フォーラムの開催結果について

平成 27 年 2 月 9 日
いじめ・不登校総合対策センター

1 事業概要

(1) ねらい

「STOP いじめ STEP なかまづくり」をテーマに、いじめ問題に関する著名人の講演、各学校等で児童生徒が主体的に取り組んでいるいじめ防止・なかまづくりに向けた取組の紹介、ポスター・標語の優秀作品の表彰及び展示をとおして、いじめ問題への関心を高め、いじめの防止のために参加者ができることを考えるきっかけとする。

(2) 日 時 平成27年1月24日(土) 13:30~16:40

(3) 場 所 県民ふれあい会館(鳥取市扇町21番地) 1Fホール、ロビー

(4) 参加者 約350人

(5) 内 容

<ホール>

① オープニング

「ともだちのうた」(収録映像) 鳥取市立用瀬小学校1年生、河原第一小学校2年生

② 表彰

「笑顔でつながるポスター・標語コンクール」表彰・作品紹介

③ 講演

「あきらめないこと、それが冒険だ」 野口 健氏(アルピニスト)
登山家としての体験をユーモアを交えた親しみやすい語り口で話していただいた。

◇あきらめない勇気、そしてあえてあきらめることを決断する勇気も必要

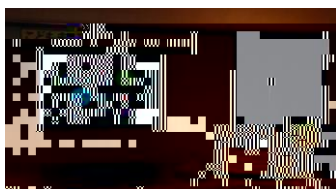
◇自由とは楽なことだけではなく、自分で選んだことに対する責任も伴うこと

◇成功・失敗の判断は時として他人から突きつけられることもあるが、一方で自分なりの基準をしっかりと持つことが大切
ということを伝えていただいた。



④ こどもたちによる発表

○「児童会から発信! みんなが笑顔で通える学校をめざして」八頭町立郡家東小学校児童会児童会がリードして劇や合唱を取り入れた「心がぽかぽか集会」を行った取組、そしてそれが全学級や委員会にも広がったことを紹介。なかまの大切さ、子どもたち自身が取り組むことの大切さが伝わり、見ている参加者も心が温かくなった。



○「考えよう!相手の気持ち」鳥取市立中ノ郷中学校生徒会生徒会執行部が、これまでの学校の取組の紹介とともに、学校の中でありそうな場面の寸劇を披露し、自分たちに何ができるか考えさせられた。いじめを見かけたとき、傍観者にならず、注意する勇気を持つことの大切さを伝えた。



○演劇「夢を信じて」鳥取市立河原中学校2年生



耳の不自由な女の子を伴奏者として迎えることになった合唱団。本音がぶつかり合う中で、団員たちの境遇や気持ちも語られ、仲間として成長していく姿を熱演した。随所に堪能な手話が用いられ、「互いに理解し合い、なかまの絆が強くなっていく」というテーマと相まって深い感動が広がった。

○読み聞かせ「ヤクーバとライオン」県立鳥取湖陵高等学校放送部
傷つき弱り果てたライオンを殺すことで栄誉ある戦士の称賛を得ることを潔しとせず、勇気のない男とされたヤクーバ。



私たちに「本当の勇気とは何だろう？」とメッセージを伝えてくれた。

⑤ エンディング

ホールの参加者と一緒に「ふるさと」を合唱
～鳥取市立用瀬小学校全校合唱の収録映像とともに～



<ロビー展示等>

- 各学校・機関・団体の取り組み
- 「笑顔でつながるポスター・標語コンクール」入賞作品
- オリジナル缶バッジ製作コーナー



2 来場者アンケート集計結果

- 全来場者の約五分の一のアンケート協力が得られた。
- 全体をとおして満足度は高かった。

参加理由 (複数回答)		よかつた	よかつた	よくなかつた	よくなかつた
いじめ問題に関心がある	35.0%				
野口さんの話が聞きたかった	65.0%	32.7%	60.0%	5.5%	1.8%
子どもたちの発表に興味があった	43.3%	63.0%	33.3%	3.7%	0.0%
		63.4%	34.1%	2.4%	0.0%

【感想・意見より】

- 学校の発表、とてもよかったです。子どもたちはよく考えているのですね。感心しました。いじめがなくなる事を祈っています。子どもにとって学校は楽しい場所なのですから、この取り組みをずっと続けてください。
- 子ども自身が能動的に取り組むための大人の働きかけ、特に教師の力を感じました。子どもの持つ力は本当に素晴らしい。
- 「自己決定、自己責任の大切さ」を野口さんの講演より知りました。とても有意義なひとときでした。